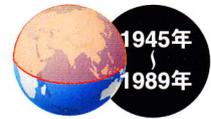


# 米・ソを中心とした 東西対立の時代



第二次世界大戦後、世界は米・ソという二大国が中心となって「冷たい戦争(冷戦)」で世界の覇権を争った。

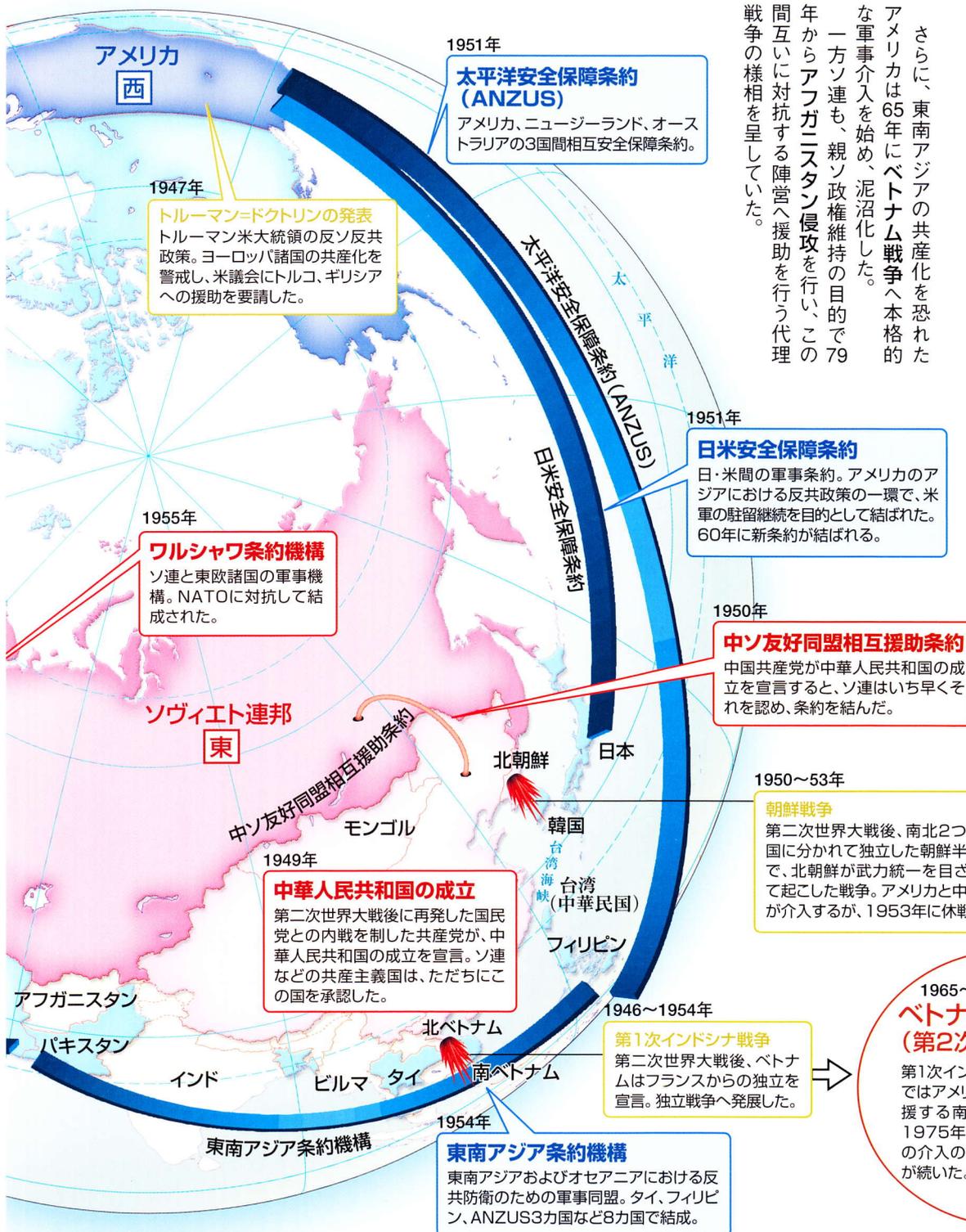
## ヨーロッパを二分した 冷戦体制の確立

ソ連軍の追撃でナチス・ドイツの支配から解放された東欧諸国では、第二次世界大戦後、ソ連の支持で次々と共産党政権が誕生した。共産主義の波及を恐れたアメリカは、1947年にトルーマンドクトリンを発表して共産主義勢力の封じ込め政策を開始。また、48年に米・英・仏が管理下の西ドイツで通貨改革を断行すると、これに反対するソ連は西ベルリンを封鎖、両陣営間の緊張が高まった。翌49年にはアメリカを中心に西側12カ国が北大西洋条約機構(NATO)を結成し、強力な軍事力でけん制したため、ソ連はベルリン封鎖を解除したが、同年にドイツは東西に分裂。その後55年に西ドイツがNATOに加盟すると、ソ連と東欧7カ国は同年にワルシャワ条約機構を結成、この両組織を中心に、20世紀末まで続くヨーロッパでの冷戦体制が確立した。

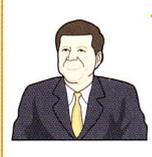
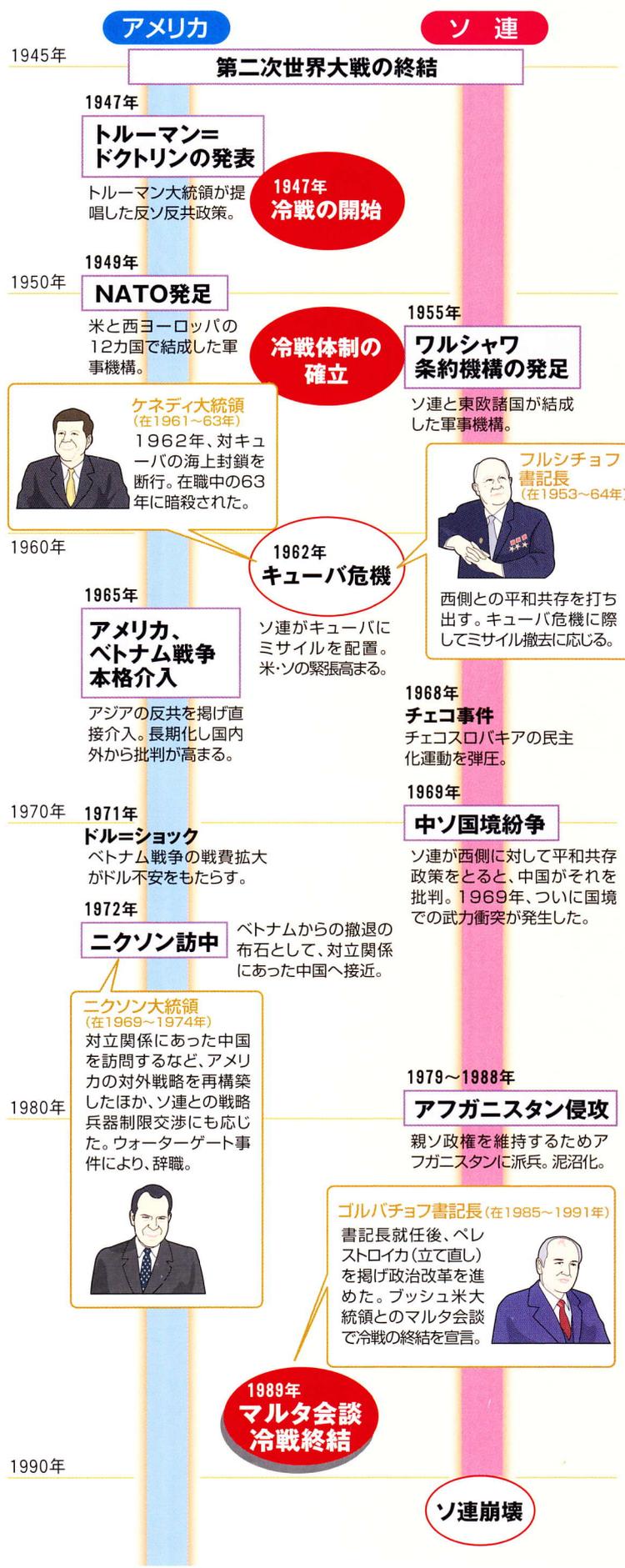
## 世界に波及した 東西の冷戦体制

その後、冷戦体制はアジア・太平洋地域やアフリカなどにまで及び、世界規模の対立構造となっていた。  
1949年に成立した中華人民共和国が、50年にソ連と中ソ友好同盟相互援助

さらに、東南アジアの共産化を恐れたアメリカは65年にベトナム戦争へ本格的な軍事介入を始め、泥沼化した。  
一方ソ連も、親ソ政権維持の目的で79年からアフガニスタン侵攻を行い、この間互いに対抗する陣営へ援助を行う代理戦争の様相を呈していた。



### 冷戦時代のアメリカとソ連



**ケネディ大統領**  
(在1961~63年)  
1962年、対キューバの海上封鎖を断行。在職中の63年に暗殺された。



**フルシチョフ書記長**  
(在1953~64年)

西側との平和共存を打ち出す。キューバ危機に際してミサイル撤去に応じる。



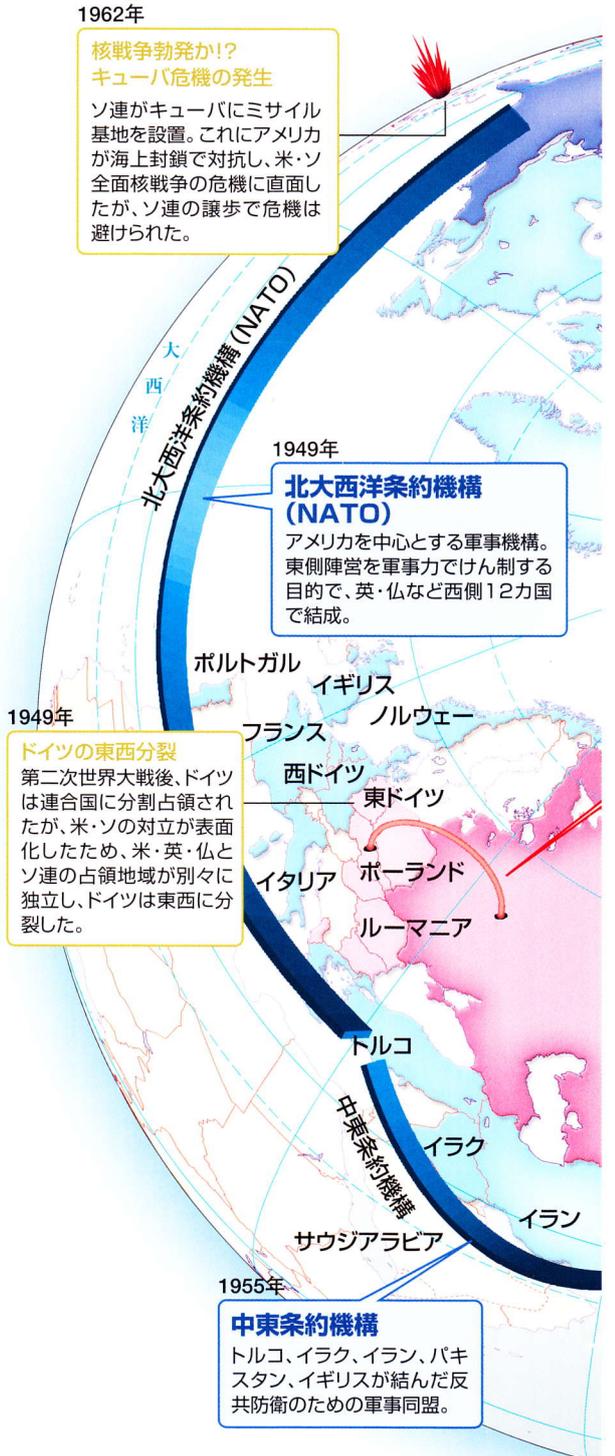
**ニクソン大統領**  
(在1969~1974年)  
対立関係にあった中国を訪問するなど、アメリカの対外戦略を再構築したほか、ソ連との戦略兵器制限交渉にも応じた。ウォーターゲート事件により、辞職。



**ゴルバチョフ書記長**(在1985~1991年)  
書記長就任後、ペレストロイカ(立て直し)を掲げ政治改革を進めた。ブッシュ米大統領とのマルタ会談で冷戦の終結を宣言。

条約を締結すると、アメリカは台湾に逃れた中華民国政府を支持し、台湾海峡を挟んで東西両陣営がならみ合う構図となった。また、朝鮮半島では北緯38度線を境に米・ソ両国が分割管理する状態が続いていたが、48年に親米派の大韓民国、親ソ派の朝鮮民主主義人民共和国が成立すると、50年には朝鮮戦争が勃発した。

キューバでは59年にカストロ率いる革命勢力が親米派のバティスタ政権を倒したのち、共産主義政権を樹立。62年にはソ連がキューバ国内にミサイル基地を建設したことをきっかけに、核戦争の危険をはらんだキューバ危機が発生した。



**核戦争勃発か!?**  
**キューバ危機の発生**  
ソ連がキューバにミサイル基地を設置。これにアメリカが海上封鎖で対抗し、米・ソ全面核戦争の危機に直面したが、ソ連の譲歩で危機は避けられた。